TRP廃止措置技術開発部（週報）

令和8年10月30日（金）午前8時　～　令和8年11月6日（金）午前8時

1．ガラス固化

項目	この期間の実績〔本〕	本年度の実績〔本〕	運転開始後の実績[1)]〔本〕
ガラス固化体の製造本数	0	0	354

2．放出放射能

放出口	放出核種	この期間の放出量〔GBq〕[2)]	本年度の放出量〔GBq〕	基準又は目標値に対する割合〔%〕[3)]
排気筒	クリプトン[4)]	N.D.	N.D.	—
海洋放出口	全 α 放射能[5)]	—	N.D.	—
	全 β 放射能（トリチウムを除く）[6)]	—	N.D.	—
	トリチウム	—	1.2×10^{1}	1%未満

端数処理のため、各項目の和と合計値が異なる場合があります。

1)　ガラス固化体の製造の運転は、平成7年に開始しました。

2)　ベクレル(Bq)は放射能の強さを表す単位です。ギガベクレル(GBq)は10^{9} Bqのことです。

3)　全 α 放射能、全 β 放射能（トリチウムを除く）については、保安規定に定める年間の放出管理目標値（それぞれ 1.2×10^{-1} GBq、3.5 GBq）に対する本年度の放出量の割合を示しています。
クリプトン、トリチウムについては、保安規定に定める年間の放出管理目標値（それぞれ 3.4×10^{5} GBq、4.0×10^{4} GBq）に対する本年度の放出量の割合を示しています。

4)　N.D.（Not detectable）は、検出限界濃度（0.0024 Bq/cm^3）未満を示しています。

5)　N.D.（Not detectable）は、検出限界濃度（0.0011 Bq/cm^3）未満を示しています。

6)　N.D.（Not detectable）は、検出限界濃度（0.022 Bq/cm^3）未満を示しています。